




咽頭結膜熱 (プール熱)

発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症です。
原因であるアデノウイルスは、季節特異性が少ないですが、6月ころから徐々に増加しはじめ、7～8月にピークを迎えます。
5歳以下でかかりやすい感染症です。


・ 潜伏期間
5～7日

・ 感染させるおそれのある期間
主要症状が消退した後2日を経過するまで

・ 感染経路

- ・飛沫感染
- ・接触感染


※プールでの目の結膜からの感染もあります。


・ 症状

症状がある期間：3～5日間

- ・発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、咽頭炎による咽頭痛、結膜炎に伴う結膜充血、眼痛、羞明、流涙、眼脂がみられます。

※生後14日以内の新生児が感染した場合は全身性感染を起こしやすいとされています。

・ 治療法
対症療法

・ 予防法

- ・感染者との密接な接触を避けること
- ・うがい、手洗い(流水と石けんで十分に行う)

※器具の消毒は、煮沸、塩素系消毒薬(次亜塩素酸ナトリウム)が効果的です。